

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2023 年度は、5 月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の区分が 2 類から 5 類に引き下げられたことを契機に、診療報酬の特例加算や施設基準、治療薬の全額公費負担の見直しにより通常の医療提供体制へ段階的に移行され、新型コロナ関連公的支援金の交付も縮小されるなど、約 3 年間続いたコロナ禍からの脱却が鮮明になりました。

また、2022 年に始まったロシアによるウクライナ侵攻や、中東産油国の減産等によるエネルギー価格の高騰は、政府による供給事業者への電気・ガス価格激変緩和対策補助金によりある程度抑制されましたが、原材料高と日米金利差に伴う円安の進行が諸物価を押し上げており、法人の支出増への影響が懸念されます。

そうした状況において、附属病院等では患者数は回復しつつあるものの、コロナ禍前の水準には至っていません。医療収入は 753 億円と前年比 5,349 百万円増となりましたが、要因としては昨年度に新入院棟が稼働を開始した大学病院などの診療単価の増加によるものです。医療収入増加に伴う医薬品等直接材料費も前年比 1,671 百万円増、人員増などによる人件費も前年比 565 百万円増となり、法人全体の基本金組入前収支差額は▲5,363 百万円と、前年度に引き続き経営状況は極めて厳しいものとなっています。こうした状況から、様々な収支改善策を試みるも赤字が続いていた東横病院を、2023 年度末をもってやむなく閉院することとなりました。

なお減価償却額は前述の新入院棟等による大学病院で前年比 1,818 百万円増、東横病院の建物の耐用年数短縮による増加が前年比 1,700 百万円増となっています。収支差額に減価償却額等を足し戻した償却前収支差額は、前年度は開学以来初のマイナスでしたが、2023 年度は 1,437 百万円のプラスとなりました。

菅生キャンパスリニューアル計画は外来棟の改修やエントランス棟の建設など計画通りに進捗していますが、原材料費の高騰や労務費の増加による追加支出が今後発生する見込みです。

法人全体の財務状況を鑑み、菅生キャンパスリニューアル事業以外の設備投資や経常経費は必要最低限に抑制しましたが、新型コロナ関連公的支援金を原資とした特定資産を取崩し、そうした設備投資や運転資金に充当しました。

そのほか、前理事長夫人の故前田和子氏より不動産と預金の遺贈を受け、不動産は鷺沼セミナーハウスとして利活用を計画し、預金は前田研究奨励金引当特定資産への繰入れや新設した聖堂設備等引当特定資産への繰入れを行いました。

2023 年 10 月からのインボイス制度開始にあたり、請求書電子受領等のクラウドサービスを教職員および取引先のご協力を得て円滑に導入することができ、会計業務の大幅な負担増の回避と帳票類の一部電子化を実現できました。

また、限られた資源を最大限に生かして、申請書や予約表等のペーパーレス化、RPA、チャットボットの導入など、DXにつながる業務効率改善の取組みが部署横断的に進められています。

借入金の返済も見据え、経営状況を改善する施策を着実にうちつつ、大学と病院に寄せられた大きな期待と信用に応える取組みを今後も継続していきます。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2023年度決算①	2023年度補正②	2022年度決算①	増減(①－②)	増減(①－③)
学生生徒等納付金収入	4,230	4,230	4,252	0	△ 22
寄付金収入	374	514	408	△ 140	△ 34
補助金収入	3,161	3,239	5,378	△ 78	△ 2,217
医療収入	65,564	64,717	60,701	847	4,863
その他の収入	18,764	18,940	22,498	△ 176	△ 3,734
資金収入調整勘定	△ 13,047	△ 11,841	△ 12,973	△ 1,206	△ 74
当年度収入合計(A)	79,046	79,799	80,264	△ 753	△ 1,218
借入金等収入(1)	600	600	29,000	0	△ 28,400
前年度繰越支払資金	17,890	17,890	9,368	0	8,522
収入の部合計	97,536	98,289	118,632	△ 753	△ 21,096
(支出の部)					
勘定科目	2023年度決算①	2023年度補正②	2022年度決算①	増減(①－②)	増減(①－③)
人件費支出	32,401	32,434	31,656	△ 33	745
教育研究経費支出	2,694	2,823	3,151	△ 129	△ 457
医療経費支出	36,845	36,625	35,855	220	990
管理経費支出	1,778	1,809	2,612	△ 31	△ 834
施設・設備関係支出	1,388	1,693	22,833	△ 305	△ 21,445
借入金等利息支出	342	343	98	△ 1	244
その他の支出	23,383	23,250	16,228	133	7,155
資金支出調整勘定	△ 13,097	△ 12,975	△ 21,976	△ 122	8,879
当年度支出合計(B)	85,734	86,002	90,457	△ 268	△ 4,723
借入金等返済支出(2)	285	285	10,285	0	△ 10,000
次年度繰越支払資金	11,517	12,002	17,890	△ 485	△ 6,373
支出の部合計	97,536	98,289	118,632	△ 753	△ 21,096
当年度資金差額(A)－(B)	△ 6,688	△ 6,203	△ 10,193	△ 485	3,505
借入金差額(1)－(2)	315	315	18,715	0	△ 18,400

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による 資金収支		2023決算 ①	2023補正 ②	2022決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金 収 入	4,230	4,230	4,252	0	▲ 22
	寄 付 金 収 入	270	151	232	119	38
	経常費等補助金収入	3,003	3,083	5,219	▲ 80	▲ 2,216
	医 療 収 入	65,564	64,717	60,701	847	4,863
	そ の 他 の 収 入	2,692	2,508	2,483	184	209
	収 入 合 計 (A)	75,759	74,689	72,887	1,070	2,872
支出	人 件 費 支 出	32,401	32,434	31,656	▲ 33	745
	教育研究経費支出	2,694	2,823	3,151	▲ 129	▲ 457
	医 療 経 費 支 出	36,845	36,625	35,855	220	990
	管 理 経 費 支 出	1,764	1,809	2,604	▲ 45	▲ 840
	支 出 合 計 (B)	73,704	73,691	73,266	13	438
調 整 勘 定 等 (C)		▲ 592	414	3,004	▲ 1,006	▲ 3,596
資金差額 (D=A-B+C)		1,463	1,412	2,625	51	▲ 1,162

2023年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は収入、支出ともに増加も前期期末未収金収入や期末未払金の差異により資金差額は**1,463百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲9,557百万円(H)**で、新型コロナ関連支援金の減少、前年度の大学病院新入院棟竣工・稼働や電子カルテ更新等施設・設備関係支出との相対的減少によるものです。教育と施設整備を合わせた資金差額は**▲8,094百万円(D+H)**です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額1,721百万円(N)**と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**6,373百万円(Q)**減少し、次年度へは**11,517百万円(P)**の支払資金を繰越すことになります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支

収入	寄付金・補助金収入	263	519	335	▲ 256	▲ 72
	そ の 他 の 収 入	2	0	448	2	▲ 446
	収 入 合 計 (E)	265	519	783	▲ 254	▲ 518
支出	施設・設備関係支出	1,388	1,693	22,833	▲ 305	▲ 21,445
	そ の 他 の 支 出	0	0	445	0	▲ 445
	支 出 合 計 (F)	1,388	1,693	23,278	▲ 305	▲ 21,890
調 整 勘 定 等 (G)		▲ 8,434	▲ 8,159	8,458	▲ 275	▲ 16,892
資金差額 (H=E-F+G)		▲ 9,557	▲ 9,333	▲ 14,037	▲ 224	4,480
資金差額小計 (D+H)		▲ 8,094	▲ 7,921	▲ 11,412	▲ 173	3,318

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	600	600	29,000	0	▲ 28,400
	収 益 事 業 収 入	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 収 入	3,202	3,388	5,185	▲ 186	▲ 1,983
	収 入 合 計 (J)	3,802	3,988	34,185	▲ 186	▲ 30,383
支出	借入金等返済支出(K)	285	285	10,285	0	▲ 10,000
	借入金等利息支出	342	343	98	▲ 1	244
	そ の 他 の 支 出	1,454	1,327	3,868	127	▲ 2,414
	支 出 合 計 (L)	2,081	1,955	14,251	126	▲ 12,170
調 整 勘 定 等 (M)		0	0	0	0	0
資金差額 (N=J-L+M)		1,721	2,033	19,934	▲ 312	▲ 18,213

借入金等収入(I)600百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は**▲823百万円**とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)		17,890	17,890	9,368	0	8,522
次年度繰越支払資金(P)		11,517	12,002	17,890	▲ 485	▲ 6,373
支払資金増減 (Q=D+H+N=P-O)		▲ 6,373	▲ 5,888	8,522	▲ 485	▲ 14,895
内 訳	借入金差額(R=I-K)	315	315	18,715	0	▲ 18,400
	当年度資金差額(S=Q-R)	▲ 6,688	▲ 6,203	▲ 10,193	▲ 485	3,505

借入金差額(借入収入-返済支出)315百万円(R)を除いた当年度の資金差額は**▲6,688百万円(S)**となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)			2023決算 ①	2023補正 ②	2022決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金		4,230	4,230	4,252	0	▲ 22
	寄 付 金		272	152	234	120	38
	経 常 費 等 補 助 金		3,003	3,083	5,219	▲ 80	▲ 2,216
	医 療 収 入		65,564	64,717	60,701	847	4,863
	そ の 他 の 収 入		2,693	2,508	2,483	185	210
	収 入 合 計 (A)		75,762	74,690	72,889	1,072	2,873
支出	人 件 費		32,382	32,661	31,881	▲ 279	501
	教 育 研 究 経 費		3,095	3,222	3,553	▲ 127	▲ 458
	医 療 経 費		42,924	41,035	38,787	1,889	4,137
	管 理 経 費		1,833	1,878	2,676	▲ 45	▲ 843
	そ の 他 の 支 出		4	47	8	▲ 43	▲ 4
	(減 価 償 却 額)		(6,428)	(4,733)	(3,051)	1,695	3,377
	支 出 合 計 (B)		80,238	78,843	76,905	1,395	3,333
	収 支 差 額 (C=A-B)		▲ 4,476	▲ 4,153	▲ 4,016	▲ 323	▲ 460

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、コロナ関連支援金(補助金)の減少の一方、医療収入増や経常費等補助金増により、前年比増の**75,762百万円(A)**となりました。

支出では、前年度に大学病院新入院棟が竣工・稼働を開始したため、什器備品代、修繕費が減少も、減価償却額や医薬品等材料費、委託費、人件費などで経費が増加しました。なお東横病院閉院に伴い、耐用年数を見直した建物減価償却額を計上しています。**教育活動収支差額は、前年比▲460百万円の▲4,476百万円(C)**となりました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支

収入	受取利息・配当金他		36	36	26	0	10
	収 益 事 業 収 入		0	0	0	0	0
	収 入 合 計 (D)		36	36	26	0	10
支出	借 入 金 等 利 息		342	343	98	▲ 1	244
	そ の 他 の 支 出		0	0	0	0	0
	支 出 合 計 (E)		342	343	98	▲ 1	244
	収 支 差 額 (F=D-E)		▲ 306	▲ 307	▲ 72	1	▲ 234
	経常収支差額 (G=C+F)		▲ 4,782	▲ 4,460	▲ 4,088	▲ 322	▲ 694

また、財務活動による収入36百万円(D)に対し、リニューアル事業借入のほか診療報酬債権流動化再開による借入金等利息342百万円と支出増のため、**教育活動外収支差額は▲306百万円(F)**、教育活動収支差額と合わせた**経常収支差額は▲4,782百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資 産 売 却 差 額		2	0	1	2	1
	寄付金・補助金収入		364	589	372	▲ 225	▲ 8
	そ の 他 の 収 入		0	0	16	0	▲ 16
	収 入 合 計 (H)		366	589	389	▲ 223	▲ 23
支出	資 産 処 分 差 額		110	108	53	2	57
	そ の 他 の 支 出		14	0	7	14	7
	支 出 合 計 (I)		124	108	60	16	64
	特別収支差額 (J=H-I)		242	481	329	▲ 239	▲ 87

施設設備整備に係る借入金の利子助成補助金や、50周年記念事業募金、教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による**特別収支差額は242百万円(J)**となりました。

基本金組入前当年度 収支差額(K=G+J-Q-R)	▲ 4,540	▲ 3,979	▲ 3,759	▲ 561	▲ 781
基 本 金 組 入 額 (L)	▲ 3,381	▲ 1,635	▲ 4,027	▲ 1,746	646
当年度収支差額(M=K+L)	▲ 7,921	▲ 5,614	▲ 7,786	▲ 2,307	▲ 135
前年度繰越収支差額(N)	▲ 58,049	▲ 58,049	▲ 50,386	0	▲ 7,663
基 本 金 取 崩 額 (O)	51	91	123	▲ 40	▲ 72
翌年度繰越収支差額 (P=M+N+O)	▲ 65,919	▲ 63,572	▲ 58,049	▲ 2,347	▲ 7,870

(参考)

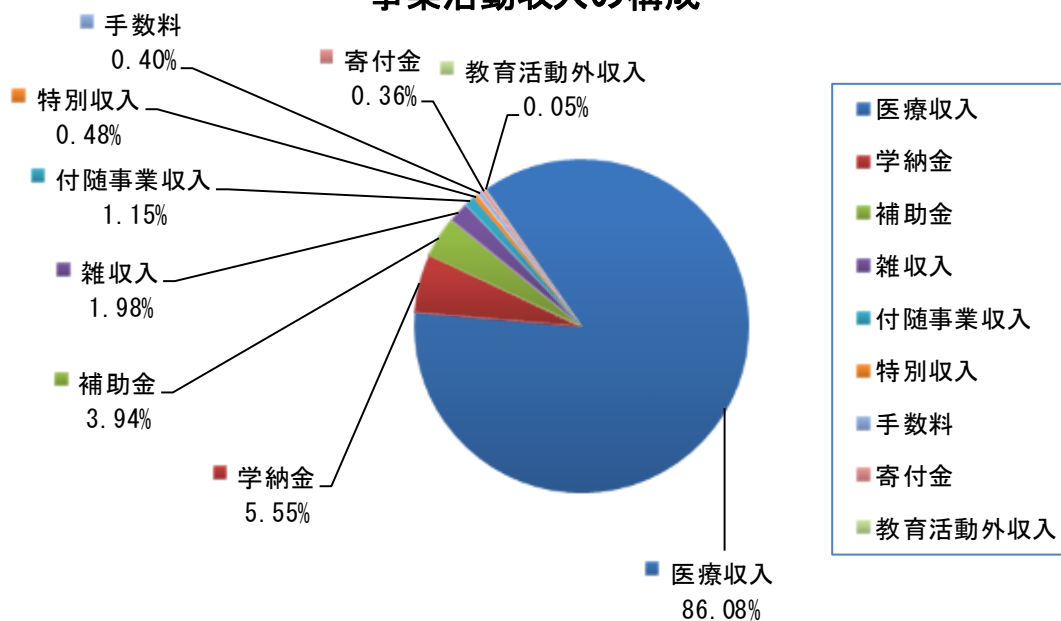
事業活動収入計 (Q)	76,164	75,315	73,304	849	2,860
事業活動支出計 (R)	80,704	79,294	77,063	1,410	3,641

この結果、事業活動収支差額は、前年度を781百万円下回る**▲4,540百万円(K)**となりました。

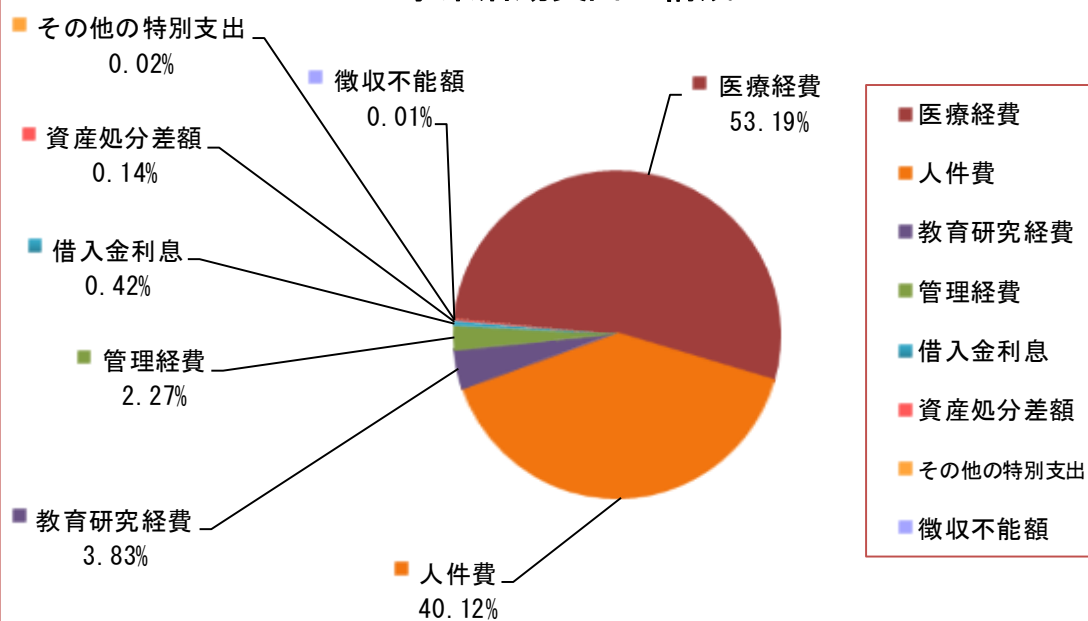
また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、**▲65,919百万円(P)**となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を2,860百万円上回る**76,164百万円(Q)**となりました。

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)とも言われ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	79,965	86,850	▲ 6,885	固定負債	53,565	53,347	218
有形固定資産	65,661	70,624	▲ 4,963	長期借入金	40,776	40,461	315
土地・建物・構築物	98,556	98,334	222	退職給与引当金	12,785	12,879	▲ 94
機器備品	27,751	29,778	▲ 2,027	その他の負債	4	7	▲ 3
その他の資産	4,146	4,150	▲ 4	流動負債	15,582	24,574	▲ 8,992
減価償却累計額	▲ 64,792	▲ 61,638	▲ 3,154	短期借入金	285	285	0
特定資産	10,254	12,035	▲ 1,781	未払金	13,510	22,439	▲ 8,929
その他の固定資産	4,050	4,191	▲ 141	その他の負債	1,787	1,850	▲ 63
有価証券	116	116	0	負債の部合計	69,147	77,921	▲ 8,774
収益事業元入金	111	111	0	基本金	103,029	99,699	3,330
その他の資産	3,823	3,964	▲ 141	1号基本金	96,908	93,578	3,330
				2号基本金	0	0	0
流動資産	26,292	32,721	▲ 6,429	3号基本金	507	507	0
現金・預金	11,517	17,890	▲ 6,373	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	14,775	14,831	▲ 56	繰越収支差額	▲ 65,919	▲ 58,049	▲ 7,870
				純資産の部合計	37,110	41,650	▲ 4,540
合 計	106,257	119,571	▲ 13,314	合 計	106,257	119,571	▲ 13,314